

きらぼし・デンマーク・インカムファンド(為替ヘッジ型)

愛称：きらぼしインカム

追加型投信／海外／債券 特化型

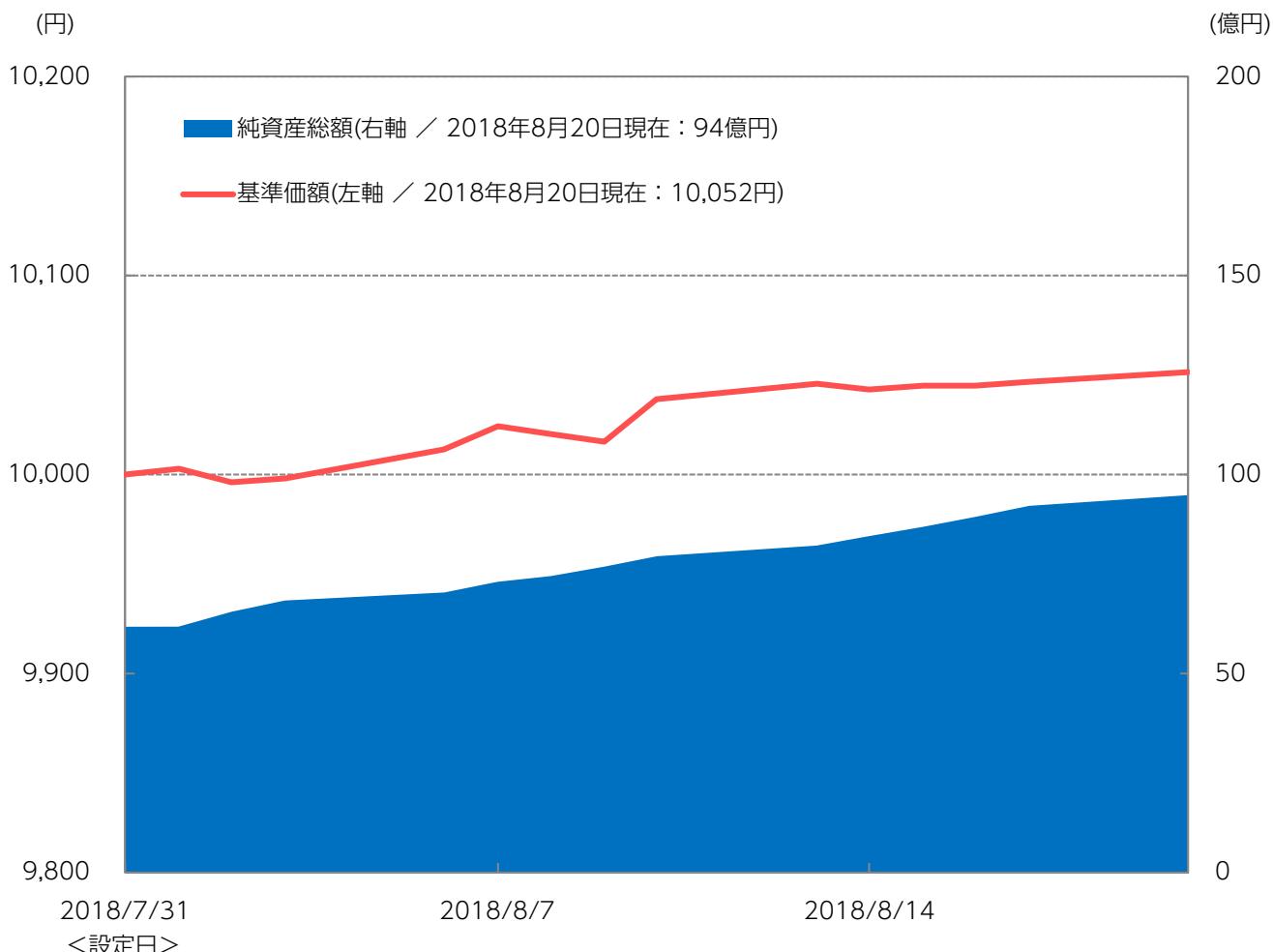
設定来の運用状況について

当ファンドは、デンマーク・カバード債券を主要投資対象とします。外貨建資産については対円での為替ヘッジを行い、安定した収益の確保をめざし運用を行います。

足元、トルコの通貨リラの急落に端を発し、為替市場では新興国通貨を中心に大きく円高が進行していますが、設定来、当ファンドの基準価額は安定的に推移しており、純資産総額も拡大しております。

なお、当ファンドの購入の申込期間は2018年8月31日までとなります。

基準価額等の推移について (2018年8月20日現在)



データ期間：2018年7月31日～2018年8月20日(日次)
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

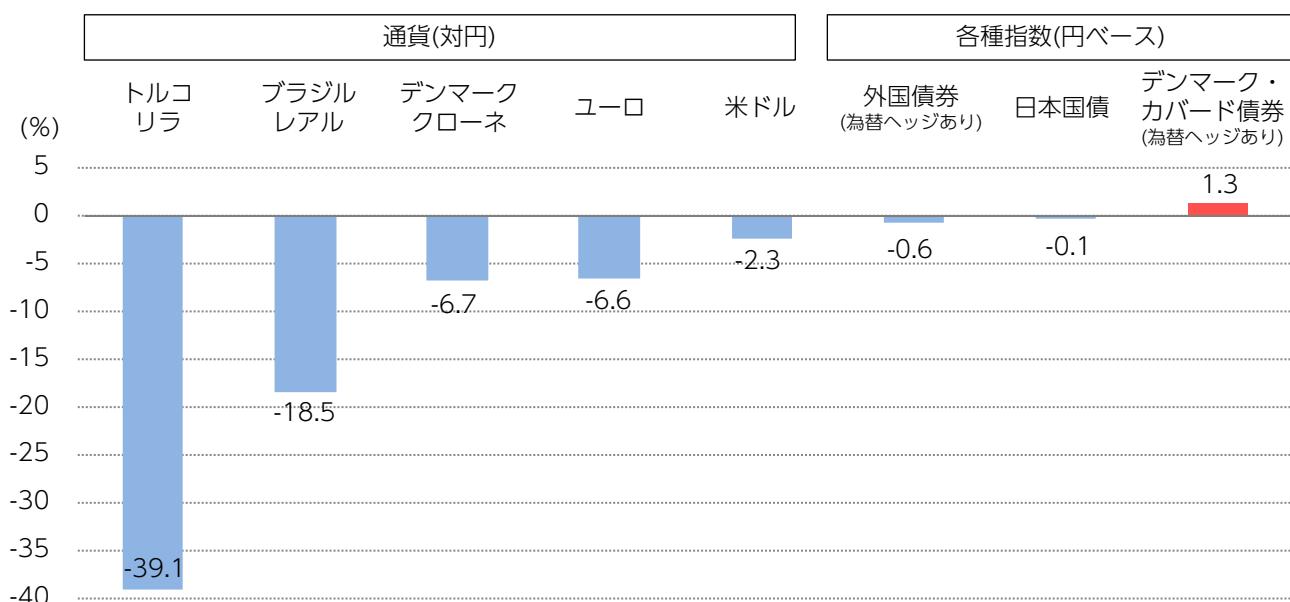
為替ヘッジでリスクを低減、良好なパフォーマンス

米国とトルコの関係悪化懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、為替市場では新興国通貨を中心に大きく円高が進行しています。このように、為替市場は短期的に大きく変動することもありますが、為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクは低減することができます。デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)は、このような投資環境においても年初来でプラスのリターンとなっています。

なお、過去10年間をみても、デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)は、日本国債等を上回る良好なパフォーマンスを示しています。

<年初来リターンの比較>

データ期間：2017年12月29日～2018年8月20日



<各種指標のパフォーマンス(円ベース)>

データ期間：2008年7月末～2018年7月末(月次)



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)：ニクレディットDMBインデックス、日本国債：FTSE日本国債インデックス、外国債券(為替ヘッジあり)：FTSE世界国債インデックス(除く日本)。

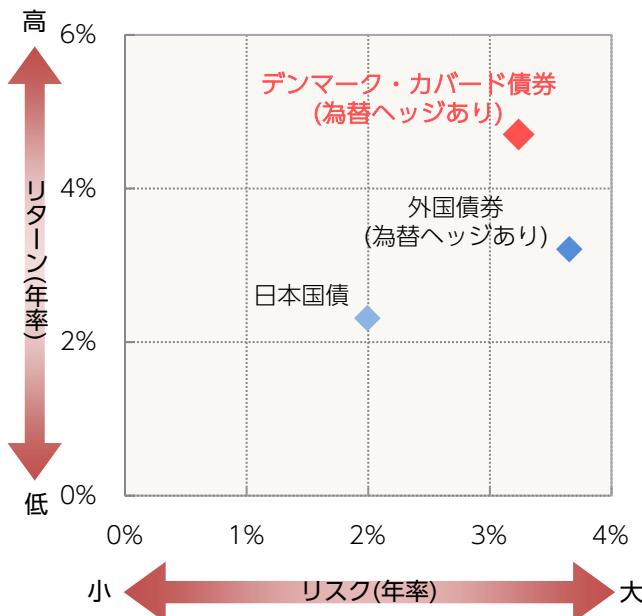
上記のパフォーマンスは各種指標の過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

パフォーマンスが良好なだけでなく、効率的にリターンを獲得

過去10年間の各種指数のリスク・リターンを確認すると、デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)はリターンが良好なだけではなく、運用の効率性を示す1リスク当りのリターンが相対的に高くなっています。運用の効率性を示す1リスク当りのリターンが相対的に高くなっています。

＜各種指標のリスク・リターン(円ベース)＞

データ期間：2008年7月末～2018年7月末(月次)



| | リターン | リスク | リターン ÷ リスク |
|-----------------------|------|------|------------------|
| デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり) | 4.7% | 3.2% | 1.45 |
| 日本国債 | 2.3% | 2.0% | 1.16 |
| 外国債券(為替ヘッジあり) | 3.2% | 3.7% | 0.88 |

出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算したものです。デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)：ニクレディットDMBインデックス、日本国債：FTSE日本国債インデックス、外国債券(為替ヘッジあり)：FTSE世界国債インデックス(除く日本)。

上記は各種指標の過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

ファンドの特色

- ①主にデンマーク・カバード債券に投資します。
- ②外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
- ③当ファンドの購入の申込みは、2018年8月31日までの間に限定して受付けます。
- ④年2回決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

| | | |
|-------------|--------------|---|
| 債券投資 リスク | 金利変動 リスク | 金利は、景気や経済の状況等の影響を受け変動し、それにともない債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には、債券の価格が下落します。 |
| | 信用 リスク | 債券の発行体が財政難・経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる場合(債務不履行)、またはそれが予想される場合、債券の価格が下落することがあります。 |
| | 期限前償還 リスク | カバード債券は、様々な要因によるローンの借換え等にともない、期限前償還されることがあります。これらの増減により価格が変動します。特に金利が低下した場合、期限前償還の可能性の高まりにより、カバード債券の種類によっては価格の上昇が抑えられること、または下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | | 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができるとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。 |
| カントリーリスク | | 外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。 |
| 流動性リスク | | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。 |

その他の留意点

- ファンドが主要投資対象とするデンマーク・カバード債券には、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える、または超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、ファンドは特定の銘柄に投資が集中することがあります。このため、当該銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- FTSE各種債券インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | | |
|-----|---------|--------|
| 購入時 | 購入時手数料 | ありません。 |
| 換金時 | 信託財産留保額 | ありません。 |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|
| 毎 日 | 運用管理費用 (信託報酬) 信託報酬率 (年率・税抜) の配分 | ファンドの純資産総額に年率0.8964%(税抜 0.83%)をかけた額とし、ファンドからご負担い ただきます。 | | 運用管理費用(信託報酬) = 保有期間中の日々の純資産総額 × 信託報酬率(年率) | |
| | | 支払先 | | 役務の内容 | |
| | | 委託会社 | | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の 算出等の対価 | |
| | | 販売会社 | | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理および事務手続き等の 対価 | |
| | | 受託会社 | | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図 の実行等の対価 | |
| | 監査費用 | ファンドの純資産総額に年率0.0108%(税抜 0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご 負担いただきます。 | | 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンド の会計監査が義務付けられているため、当該監査に かかる監査法人等に支払う費用 | |
| 随 時 | その他の費用・ 手数料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸 費用および借入金の利息等はファンドからご負 担いただきます。これらの費用は運用状況等に より変動するため、事前に料率・上限額等を記 載することはできません。 | | | ・売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に 仲介人に支払う手数料 ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託 事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を 借り入れた場合(立替金も含む)に発生する利息 |

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

! 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。

詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

| 取扱販売会社名 | 金融商品取引業者 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|------------|----------|--------|----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| 株式会社きらぼし銀行 | | ○ | 関東財務局長(登金)第53号 | ○ | | ○ | |

| | |
|---|---|
| 委託会社【ファンドの運用の指図を行います】 | ファンドに関するお問合せ先 |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： https://www.nam.co.jp/ |
| 受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】 | |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | |